

## 馬毛島のニホンジカにおける個体数の推定結果について

### 1. 推定結果

馬毛島のニホンジカの個体数について、比較的開けた場所での目視調査と、樹林内等に設置したセンサーカメラを用いた調査の2種類の調査を行いました。調査結果を分析したところ、島内には現時点で500～800個体程度が生息しており、馬毛島における施設整備に着手して以来、概ね同程度で推移していると推定しました。\*

※比較的開けた見通しの良い場所でシカが多い場合は、見通しの悪い樹林内等にシカは少なく、比較的開けた見通しの良い場所にシカが少ない場合は、見通しの悪い樹林内等にシカは多いと考えられることから、(目視調査の低値+センサーカメラの高値)～(目視調査の高値+センサーカメラの低値)として考え、推定したものです。

ただし、夏季の目視調査による確認個体数は、シカの多くが草地等の日陰に潜んでいたものと考えられるため除外しています。この推定手法は、環境影響評価書において、専門家の意見も踏まえた上で採用しているものであり、今般の推定結果についても専門家の確認を経ています。

### 2. 調査結果の詳細

#### ・目視確認によるシカの個体数（見通しの良い場所）

季節	調査日	確認個体数	天候
春季	令和7年4月4日	798 個体	晴・中風
	令和7年4月5日	752 個体	晴・中風
夏季	令和7年6月13日	254 個体	晴・中風
	令和7年6月14日	268 個体	曇時々雨・中風
秋季	令和7年11月16日	604 個体	晴・中風
	令和7年11月17日	526 個体	晴後曇・弱風
冬季	令和7年12月1日	573 個体	晴・弱風
	令和7年12月4日	445 個体	晴・強風

※夏季における確認個体数が他の季節と比較して少ないが、シカの多くが草地等の日陰に潜んでいたものと考えられます。

#### ・センサーカメラを用いた調査によるシカの推定個体数（見通しの悪い樹林内等）

確認調査季節	低値	高値	中央値
春・夏・秋・冬	53 個体	126 個体	79 個体

※調査は春季（令和7年3月から4月）、夏季（同年6月）、秋季（同年10月から11月）、冬季（同年12月）の各期間において、それぞれ約1か月間実施したものです。

（以 上）